

- 5/6(日) 愛フェス2012キックオフミーティング(参加)
- 5/7(月) 愛知県委託事業説明会
- 5/8(火) 尾張旭市・市民活動助成事業候補選定会議
- 5/10(木) PSC会計監査、中部電力来所
- 5/11(金) なごや環境大学幹事会、名古屋市緑区土木局来所、愛知県新しい公共支援事業成果報告会
- 5/12(土) 尾張旭市・市民活動助成事業候補選定会議
- 5/15(火) 愛知県社会活動推進課来所、ゆめネット来所
- 5/16(水) 第1回PSC理事会
- 5/17(木) シニアボランティア会議、SRフォーラム(東京、～18日)、ドライバーサービス第4回CSR委員会
- 5/18(金) NNネット総会、愛知県市町村NPO・ボランティア担当者会議(事業紹介)
- 5/21(月) 愛知県委託事業プレゼン
- 5/23(水) 内閣府改訂NPO法説明会(参加)
- 5/24(木) 中部電力SH会議、カフェ・アイリス運営会議、損保ジャパンCSOラーニング面接
- 5/25(金) 愛知県委託事業募集説明会
- 5/26(土) 第2回PSC理事会、PSC定時総会
- 5/28(月) なごや環境大学総会
- 5/29(火) 中部電力環境懇談会(浜岡)、「第9回日本パートナーシップ大賞」会場下見(中央大学)
- 5/30(水) 愛知県事業プレゼン
- 5/31(木) 復興庁事業プレゼン(東京)

- 6/1(金) 「第9回日本パートナーシップ大賞」応募事業受付開始、名古屋青少年活動支援ネット来所
- 6/3(日) ドライバーサービス社内研修、愛フェス2012説明会(参加)
- 6/4(月) ナゴヤハウジングセンター来所、東海市まちづくり協働推進事業一次審査会、愛知県委託事業プレゼン
- 6/8(金) SAVE JAPANキックオフミーティング、愛知県新しい公共フォーラム企画委員会、愛フェス2012NPO部会(参加)、名古屋市社協来所
- 6/9(土) おうみ未来塾12期生入塾式
- 6/11(月) 「第9回日本パートナーシップ大賞」第3回運営委員会
- 6/12(火) プラスワンシード来所
- 6/18(月) 名古屋市指定管理者評価委員会
- 6/19(火) 環境改善技術推進機構理事会
- 6/20(水) カフェ・アイリス運営会議、名古屋市指定管理者評価委員会
- 6/21(木) 愛知県産業労働部(意見交換)
- 6/22(金) (株)真誠第2回CSR委員会
- 6/23(土) レスキューストックヤード10周年、東海市まちづくり協働推進事業二次審査会
- 6/24(日) ボラみより情報局総会
- 6/25(月) NPO育成・強化プロジェクト(岩手)(24日～26日)
- 6/26(火) きたかみ震災復興ステーション(北上市地域づくり課)
- 6/28(木) JCN広域避難者支援ミーティングin東海(名古屋国際センター)

各種事業の講座やイベント当日のお手伝い、事務局での作業等
ボランティア募集中!!
 お問い合わせ: 052-762-0401 / info@psc.or.jp
 (PSC事務局まで)

事務局だより

6月、この時季にしては珍しく台風が本州に上陸・通過し、各地に大きな被害をもたらしました。被害に遭われたみなさまに謹んでお見舞いを申し上げます。
 さて、PSCでは5月の定時総会も無事終了し、自主事業の2本柱が始動しました。この号をお届けする頃には、今年で第7回を迎える協働アイデアコンテストのエントリーも始まります。
 アイデアコンテストは今回、最終選考会を例年より2ヵ月早く、10月に開催する予定。「パートナーシップ大賞」(募集は7月末までです!)とともに、みなさまぜひご応募、ご参加ください。
 事務局スタッフも、素晴らしい協働アイデア・協働事業に出合えるのを楽しみにしております。(木内)



募集

7月2日エントリー開始!
企業&NPO協働アイデアコンテストの募集が始まります

企業との協働事業アイデアを競う「協働アイデアコンテスト」は、公益財団法人中部圏社会経済研究所(旧財団法人中部産業・地域活性化センター)との共催で、今年で7回目の開催となります。
 NPOだけでは実現することが難しい事業アイデアをお持ちのNPOの方、ぜひ企業との協働をめざしてアイデアコンテストにご応募下さい。入賞団体には助成金をご用意しています。最終選考会でのプレゼンテーションが不安な方にはいいいな指導も行います。みなさまのエントリーをお待ちしています。(山崎)



- ▽募集期間 エントリー: 7月2日(月)～31日(火) アイデア応募: 8月1日(水)～31日(金)
- ▽応募条件 中部広域9県(富山、石川、福井、長野、岐阜、静岡、愛知、三重、滋賀)に所在するNPO団体であること *法人格の有無は問いません
- ▽最終選考会 日時: 10月17日(水) 15:00～ 場所: 名古屋市中区 名古屋栄ビル(予定)
 *第1次審査(書類審査)を通過した5団体による協働アイデアのプレゼンテーションと審査、交流会、助成金授与を行います。
 *助成金 最優秀賞20万円、優秀賞10万円、特別賞5万円、奨励賞(2団体)3万円
 ◆詳細は同封のチラシまたはホームページをご覧ください。



新スタッフ紹介

はじめまして!! 6月4日(月)からPSCでお世話になっている江坂侑です。野球歴15年、健康状態良好な25歳です(PSC最年少)。先輩、大先輩に囲まれながら、日々仕事に励んでおります・・・なんと充実した毎日なのでしょう。実はわたくし、2010年にPSCが行った社会的事業者育成科の第一期生です。懐かしさと共に2年ぶりの帰還。気持ちは一瞬、PSCに新たな風を吹かせます!!(江坂侑)



インターン紹介

はじめまして!これから損保ジャパンのCSOラーニング生として1年ほどPSCでインターンさせていただく、愛知淑徳大学3年の伊藤蘭です。大学では国際文化や、経済、地域貢献について学んでいます。私は別のインターンシップで協働の素晴らしさを学びました。その時にPSCの存在を知り、興味を持ちました。PSCでインターンシップができることを嬉しく思います。インターンシップを通し視野を広げ成長したいと思っています。よろしくをお願いします。



はじめまして、名古屋市立大学3年生の河野友紀です。大学でまちづくりを勉強していて、特に企業・NPO・行政の協働について興味があります。ある日偶然にPSCさんの活動内容を知り「これだ!」と思い、その日のうちにインターンの応募をし、今年度のインターン生として参加させて頂くことになりました。知識も経験もありませんが、何事にも積極的にチャレンジし少しでも多くのことをこのインターンで学びたいと思っています。どうぞよろしくをお願いします。



PSC Report 8

パートナーシップ・サポートセンター

Vol.84

発行 特定非営利活動法人 パートナーシップ・サポートセンター(PSC)
 〒464-0067 名古屋千種区池下1丁目11番21号 サンコート池下4F
 TEL (052) 762-0401 FAX (052) 762-0407
 E-Mail info@psc.or.jp URL http://www.psc.or.jp
 発行人・岸田真代

新 PSC自主事業の2本柱がスタートしました!!

「協働推進Q&A」を使った協働コーディネーター普及講座の全国展開に向け...

1 協働推進Q&A ステージチェック体験講座 参加者募集

「あなたは今どの協働ステージですか?」
 平成23年度経済産業省の事業報告会で、審査員から「随分完成度が高いですね!」との評価を得た「協働推進Q&A(解説付)」。「パートナーシップ大賞」「協働アイデアコンテスト」「協働フォーラム」など、様々な角度から協働を支援してきたパートナーシップ・サポートセンター(PSC)ならではの視点で作成した、NPOと企業の協働を推進するためのガイドブックです。
 協働推進の流れを5つのステージに分けて、設問に答えていくと、あなたやあなたの団体が、協働推進のどんな段階にいるのかを確認できます。また、設問には詳しい解説が付いていて、協働支援の段階によって何が必要なのかもわかります。今年度は、全国各地のNPO支援センターや行政などの、協働推進に関わっている方を対象に、このガイドブックでステージチェックを行いながら、協働コーディネーターの普及をめざす講座を開催していく予定です。
 あなたの地域で協働を進め、協働コーディネーターを育てるために、まずは、あなた自身がステージチェックを体験してみませんか。(山崎)



具体的で実践的な講座内容に高い評価!
 「NPO&企業 協働推進5つのステージ」ワークショップ開催

5月26日(土)に行われたPSC定時総会后、同会場で「NPO&企業 協働推進5つのステージ」ワークショップを開催。協働を進めるための具体的なポイントを解説しました。ワークショップのテキストは、昨年度の事業でPSCが作成した「NPO×企業 協働推進Q&A(解説付)」。中間支援の各組織が連携・協働を推進していく流れを、5つのステージにまとめています。まず、講演で岸田代表が、PSCによる協働推進の事業プロセスと理論構築の歴史を紹介。企業とNPOの協働一言うのは簡単ですが具体的などのように進めたらよいか、そのノウハウが詰まったテキストを紹介しました。その後、ワークショップ参加者はステージごとの設問に回答。合計点から自分自身・自団体の協働推進の状況を確認しました。
 参加者からは、テキストについて「中間支援組織の役割がよく分かる」と高い評価。協働推進のノウハウが客観的にまとまっており、自身の課題も明確にできるとして「実際に協働をコーディネートするとき使いたい」という声も上がりました。(木内)



2 8/2 THU CSR研究会 設立イベント CSR, 会社の未来 ー新しい経営戦略の構築に向けてー その先へ

昨年まで2年間にわたり実施してきた愛知県委託「中小企業の活力向上」事業が4月より自主事業「CSR推進」事業にリニューアルしました。企業に向けてステークホルダー・ダイアログの実施とそれに続く分析などにより企業のCSR推進をサポートしていきます。この事業の一環として、企業の方々を中心としたCSR研究会の発足を進めています。8月2日(木)午後、研究会発足のイベントとして、岸田代表による講演会を実施いたします。CSRを推進することでビジョンが拓け、NPOと協働することを通じて新たな価値の創造が可能となることを明らかにします。企業の方はもとよりCSR推進に関心のある方々の参加をお待ちしております。ふるってお申し込み願います。(阿部)
 ※事業の詳細は2ページに紹介しています。イベントは同封のチラシをご覧ください。



経営戦略の新しいかたち

—CSR推進に取り組む 協働企業、大募集中!!—

2年間の愛知県事業を踏まえ、自主事業としてスタートした事業。中小企業はもちろん、大企業・中堅企業にも魅力的な『CSR推進事業』として取り組んでいます。

最大の特徴は、評価の高かった「ステークホルダー・ダイアログ (SHD)」を最大限に活用し、数値化された客観的データをもとに経営方針やCSRの取組みを推進していくこと。

地域密着型企業や、グローバルに展開している企業の皆さん、企業を取り巻くステークホルダーとともにCSRを推進しませんか! ※1ページでイベントをご案内しています。

(成瀬)

▼岸田代表のファシリテーションによるステークホルダー・ダイアログ



▼「改善提案書」ステークホルダーの意見を分析・数値化し、CSR推進を提案



◀CSRレポートの作成

会員紹介⑦ 株式会社 真誠

～「中小企業の活力向上」事業に参加して～

昨年度の「ステークホルダー・ダイアログ (SHD) 及びCSR推進による中小企業の活力向上事業」の参加企業でもある(株)真誠は、「すべての人を笑顔にしたい」をキャッチフレーズに掲げている、ゴマ製品のトップブランド企業です。このたびPSC会員となり、さらにCSR推進事業の協働企業として一番乗りで参画されることになりました。その取りまとめ役である太田取締役より、SHDに参加されての感想をいただきましたので紹介します。

社会貢献・CSR活動推進に向けて2009年1月に「真誠グループ企業倫理」を制定しましたが、具体的活動が進んでおらず、何をどのように行っていくのか、暗中模索の状況であったところに、PSCさんからお電話をいただき、愛知県委託の「ステークホルダー・ダイアログ及びCSR推進による中小企業の活力向上」の事業を知りました。

お話を伺い、ぜひ参加させていただきたいと申し込みをしましたが、取り組み企業として選んでいただけるか、決定の連絡をいただくまで落ち着いた日々を過ごしました。

4回のダイアログを経験し、社員の社会貢献・CSR活動に対する理解、認識が深まったことはもちろん、上段に構えて考えるのではなく、身近なところから、できることから活動を進めることが大切であること、ステークホルダーの方々が、真誠をどのように評価され、何を期待されているかを知ることができ、社員の意識も高まりつつあります。

今後は、「すべての人を笑顔にしたい」のコーポレートメッセージを実現し、持続して活動していくためには、どのような取り組みをどのような方法で実施していくことが大切か、PSCさんに助言をいただきながら進めていきたいと考えています。

(取締役/管理本部 総務チームリーダー 太田峰子)

PSCとともに成果をあげませんか?

CSR推進ガイドライン

現状の把握
事業継続のための課題は何か?現状を把握し、課題解決のキーとなるステークホルダーを決定します。

ステークホルダー・ダイアログ開催

課題の明確化
ステークホルダーより出された意見や質疑応答を分析・数値化することで、取り組むべき課題を明確にします。

「経営改善提案書」

CSR推進への取り組み
CSR委員会を設置、定期開催しながら課題解決のための取り組み内容を決定し、それを全社的に周知徹底し、実行に移します。

CSRレポート作成 (ISO26000対応)

NPO・行政との協働推進

- ＜CSR推進によって生まれるメリット＞
- ・社会に正しく認知され、企業価値が向上
 - ・ステークホルダーとの関係が向上
 - ・資金調達、販路拡大、原材料調達に好影響
 - ・従業員のモチベーションアップ
 - ・コンプライアンス意識の強化、リスク回避



▲ステークホルダー・ダイアログの様子

●企業データ●

名称	株式会社 真誠
住所	〒481-8526 愛知県北名古屋市片場新町29
連絡先	TEL 0568-23-3311 FAX 0568-22-4245
H P	http://www.shinsei-ip.jp/
事業内容	ゴマ及び即席食品の製造販売

2012年度PSC定時総会

2011年度事業報告など全ての議案を承認

5月26日(土)13:30より、ウィルあいちにて、2012年度PSC定時総会を開催しました。会員104名(出席35名、委任状69名)が参加。堀越哲美理事を議長に選出し、2011年度の事業報告及び決算報告、2012年度事業計画(案)及び活動予算(案)、定款の変更、役員を選任などの審議が行われ、いずれについても承認されました。

続いて会員会費変更について報告、了承を得、最後に会員アピールタイムを行い、15:00に閉会しました。(山崎)



<総会“番外編”～交流会～>

総会が無事終了したあとは、これまで恒例の交流会へ。会場は、“陽気なイタリア人”でお馴染みのレストラン「ドン・アントニオ」。いつもの常連から初めて参加された方まで、気さくに話し合えるのが交流会の醍醐味。

若原理事による乾杯の音頭で始まり、歓談を交え、シェフによる彩のある料理に舌鼓を打ちながら、「近況報告」ということで、参加者ひとりずつ自己紹介をかねて挨拶。貴重なお話をいただきながら、面高理事の挨拶で締め、今年も和気あいあいのうちに終了となりました。(成瀬)



2012年度PSC理事

- 理事 (※五十音順、敬称略)
- 市川 博美 グローバル教育支援センター 代表
 - 岩原 明彦 (株)デンソー 経営企画部CSR推進室長
 - 岡部 扶美子 (N)パンドラの会 代表理事
 - 加藤 歌子 税理士
 - 河井 孝仁 東海大学文学部広報メディア学科 教授
 - 川上 里美 (N)福祉サポートセンターさわやか愛知 理事長
 - 岸田 眞代 (N)パートナーシップ・サポートセンター代表理事
 - 小林 宏之 (公財)中部圏社会経済研究所 代表理事
 - 田井 伸一 三井住友海上火災保険(株) 中部総務部長
 - 高田 正人 トヨタ自動車(株)総合企画部 CSR室主査
 - 林 隆春 (株)アバンセコーポレーション 代表取締役
 - 堀越 哲美 名古屋工業大学大学院 教授
 - 山本 昌弘 日本労働組合総連合会愛知県連合会 副事務局長
- 監事
- 面高 俊文 元(株)デンソー 総務部長
 - 柴山 忠範 愛知県経営者協会 専務理事兼事務局長

●●● 新理事着任挨拶 ●●●

田井 伸一 (三井住友海上火災保険(株) 中部総務部長)

この度、前任の黒田に替わり、理事に就任させていただきました。NPOと企業のコラボを支援し1+1を3にも4にも発展させているPSCの活動に深く共感しており、企業サイドから少しでもお役に立ちたいと考えております。錦1丁目の弊社ビル1階のNPO喫茶「カフェ・アイリス」にも、是非お立ち寄り下さい。



岡部 扶美子 (NPO法人 パンドラの会 代表)



2002年、パートナーシップ賞をいただいてからパンドラの会は、飛躍的に躍進いたしました。ですからパートナーシップ・サポートセンターさんには、感謝の気持ちでいっぱいです。少しでもPSCさんのお役に立てたらと思い、理事の大役をお引き受けすることにいたしました。今後とも宜しくお願いします。

PSC代表岸田の“東へ西へ”(2012年5月6月)

5月の連休はここ数年の個人的恒例となった上海での家族との再会を楽しんだ。それができるのも、PSCスタッフが充実し、それぞれ任せられるくらいに成長してきた証拠、とできるだけ自分の出番を少なくしようと、こここのころ心がけてきたつもりである。総会などは、99年から発行してきた「年次報告書」のリニューアルには少々意思を伝えたものの、総会案内から当日運営まで、ほぼ私の指示がなくても開催できるようになってきたのは、本当に心からうれしい。このPSCレポート4ページの「主な活動」一覧も、数年前まではほぼ私ひとりの活動で埋め尽くされていたことを考えると、隔世の感すらある。

とはいえ、組織のバトンタッチということまでは、そう簡単に問屋が卸してくれそうにない。それが、この5月6月であった。どうも今年には事業と組織のバランスがなかなかとれない。こういう年もあると割り切りつつ、本来めざすべき自主事業主体の組織への切り替えを、改めて真剣に考える日々である。

さて、東へ西へ。まず5月は「SRフォーラム」で東京へ(5/17(木)～18(金))。社会的責任のための円卓会議「人を育む基盤の整備」に参加した者として仲間とともに分科会を担当。自らも「ISO26000と人材育成」をテーマに発表した。18(日)はその主催者であるNNネットの総会にも参加。名古屋に戻って5/24(木)は中部電力のNPO4分野の有識者を集めたステークホルダー会議のコーディネーターを務める。中部電力

にとってもただ反対や批判だけではなく真摯な意見に収穫は大きかったよう。5/29(火)には同環境懇話会メンバーとして浜岡原発(静岡県)視察へ。まだまだ課題は多い。5/31(木)は復興庁事業プレゼンで東京へ。

6月に入ると、「第9回日本パートナーシップ大賞」の応募受付開始。初の「日本」の冠がどう功を奏すか! 6/9(土)には10年以上かかっているおうみ未来塾の12期生入塾式で滋賀県大津へ。6/18(月)と6/20(水)は名古屋市指定管理者評価委員会。6/22(金)は昨年からの愛知県事業の協働事業であった(株)真誠さんの、今年もPSC自主事業として取り組んでいただけることになって初めてのCSR委員会。若者たちの顔がだんだん生き生きとしてくる時間を共有できるのは楽しい。6/23(土)はPSC会員のレスキューストックヤードさんの10周年で名古屋テレビ塔へ。6/24(日)～25(月)は日本NPOセンター「NPO育成・強化プロジェクト」のメンターとして岩手へ。6/26(火)はきたかみ震災復興ステーションを巡り、いわてNPO-NETサポートの菊池事務局長に再会。北上市の地域づくりの担当者も来ている意見交換することができた。(6/27 岸田眞代)

北上市のまちづくりのひとつ「お滝水車」に案内していただいた。菊池さん(左)と、そば粉を挽いていた地元の方(右)

